

PORT SAPIE

# ぽるてぴえ

函館大学広報誌Vol.7●発行／函館大学広報誌編集事務局

1998 JUL.  
Vol.7



二十間坂より望む函館山

●特集

## 学園訓の理念に、 今こそ立ち返って

●留学体験

希望を胸に函館大学へ

●就職

平成10年度就職戦線の展望と9年度の実績

函館大学



函館大学校歌

親潮速き

作詩 土田秀雄  
作曲 館野信平

親潮速き海峡を とどろと寄する荒波も  
乗り越え行かんひたすらに 北極星を仰ぎつつ  
真理の海に棹させば 黙示ひらけて人の世の  
まことの平和あらわれん お、これぞこれ友垣を  
一つに結ぶ望みなれ 讀えんかなや我等が母校

三 礎並みも霞む大平原 鷗群れ飛ぶ北の海  
尽きせぬ富を拓きつつ 担う文化の豊けさよ  
恵み傾けてもろ人と 手に手をとらば人の世の  
楽園ここに開けなん お、これぞこれ友垣を  
一つに結ぶ望みなれ 讀えんかなや我等が母校

三 狭霧晴れゆく蝦夷松の 林のかた郭公鳴く  
思案の朝を踏みゆけば 心開くる思いあり  
友とし学ぶ幸ありて 誠に結ぶ学園の  
道をひとすじに進まん お、これぞこれ友垣を  
一つに結ぶ望みなれ 讀えんかなや我等が母校

### 12月までの主な日程

- 7月11日 夏季休業開始（～8/31）
- 13日 公務員受験対策講座（夏期）（～7/17）
- 19日 協学会地区懇談会・函館
- 20日 協学会地区懇談会・室蘭・函館
- 21日 協学会地区懇談会・旭川・仙台
- 22日 協学会地区懇談会・札幌・東京
- 23日 協学会地区懇談会・帯広・大坂
- 25日 交換留学生出発
- 9月 1日 前期授業再開
- 11日 前期授業終了
- 12日 前期末試験開始（～9/29）
- 19日 学園創立記念日
- 10月 1日 後期授業開始
- 就職内定公示
- 5日 3年次第一回就職ガイダンス（以後毎週月曜日）
- 16日 大学祭準備
- 17・18日 大学祭
- 19日 大学祭後始末
- 20日 3年次就職個人面談開始（～12/10）
- 12月11日 冬季休業開始（～1/16）
- 函館大学第17回海外研修旅行
- 就職合宿セミナー 於：グリーンピア大沼（～12/12）
- 1月18日 後期授業再開
- 30日 卒業論文提出締切

函館大学  
広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号  
TEL (0138) 57-1181 FAX (0138) 59-4575  
ホームページアドレス <http://www.hakodate-u.ac.jp/>



# ぽろとさびえ

「ぽろとさびえ」は、ラテン語のポルトス（港や門を意味します）とサピエンティス（知恵や英知を意味します）を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。



学校法人野又学園  
理事長 野又 肇  
函館大学  
学長 河村 博旨

## 学園訓の理念に 今こそ立ち返って

倫理道徳があつて知識理性がある  
いまこそ問われる、  
教育とはどう在るべきか。  
その拠り所となるのが、  
民主主義教育の理想と学園訓の理念である。  
いまこそ「学園訓」の理念に  
立ち返ってみることこそ、  
函館大学のこれからが見えてくる。

特集 座談会

## 「学園訓の理念に、 今こそ立ち返って」.....1

「研究室から」論文紹介.....5

留学体験.....6

希望を胸に函館大学へ.....8

平成11年度入試案内.....9

北から南から出身校紹介.....10

聴講生紹介.....11

平成10年度就職戦線の展望と9年度実績.....12

ビジネスマナー 新入社員と議事録.....13

ゼミナール紹介.....14

インターゼミ参加報告／委員会だより.....15

教職員プロフィール.....16

函館A Sketch of Hakodate.....18

私の函館散歩、いい店食べ歩き

地元企業を訪問 函館三菱ふそう自動車販売(株).....19

読書テーブル.....20

エッセイ

スポーツ雑記.....21

函大ing.....22

クラブ戦績.....23

クラブ紹介.....24

教養講座・健康相談.....25

協学会から.....26

同窓生を訪ねて.....27

投稿コーナー

旬と絆.....28

学園プロフィール

函館医療保育専門学校.....29







## 民主主義教育の理想と 本学「学園訓」の理念

**理事長** ●当学園は、昭和十三年の函館経理学校の設立から、今年でちょうど六十周年を迎えました。現在は函館大学を頂点に、短大・一校、専門学校三校、高校二校として幼稚園までの八校、さらに関連校として札幌に専門学校一校、関連法人として保育園と自動車学校を擁するグループを形成しています。建学の精神は、人間教育と職業教育を柱に、知識・技術とともに人間、職業人としての生き方を教育したいと全人教育を目指してきました。

また本学園は全校に共通して学園訓を、その教育理念に掲げています。

「報恩感謝 常識涵養 実践 躬行」

言い換えれば知・情・意の円満にして高度に発達した人間の育成を目的に、その精神を受け継ぎ徹底していくことが本学の今後変わらぬ姿勢であります。

**学長** ●本学の学園訓は、東洋的思想にも思えますが、カントの哲学にも共通する、時代や国家を超えた普遍性のあるものです。「報恩感謝」は、感謝の気持ちで多くの恩恵に報いる。すべての人間が両親をはじめ先人たちに感謝し、現在の大学社会や職場社会、

地域社会、国家社会、さらには人類社会、地球社会に感謝し、今生存していること自体に感謝する。そして日々受けている多くの恩恵を認識し、自分の果たすべき使命や責任を常に考える。そして、その実践生活を通して多くの恩恵に少しでも報いる。こういう精神を常に忘れないで生きる。これこそ至福への道であり、素晴らしい生き方です。また「常識涵養」の中には倫理観・モラル観はもちろん正邪・善悪の判断、さらには知識・学問・技術とその応用としての知恵や英知も含まれます。そして、それを応用駆使して世のため他人のために小事細事でも誠実に毎日身を持って実践することが「実践躬行」です。勤勉、誠実、謙虚に愛と奉仕の精神を常に持って実践する。日常生活の全部が修行と訓練の実践行動と考えて生活する。これが大事、肝要なこと……。

私たちは、本学の創立者をはじめ尽力したすべての人に感謝し、それを受け継ぎより高めていかねばなりません。

現在、人間の倫理・モラルが問われている時代に、この学園訓の理想に今一度立ち返って、教育を考え直すべきです。この学園

訓を具体的に教育とどう連動させ、効果的に行うにはどうしたらよいか、また全教授、職員スタッフがこの学園訓をどう理解し学生をいかに指導していくか、常にそれを考えている函館大学です。

**理事長** ●大学改革・教育改革と言いますが、もう一度建学の精神・学園訓といった原点に立ち返り、それに沿った教育を責任もって行っていくことが大事ではないでしょうか。

そして大学として研究と教育を両立させ、学生のニーズ、社会のニーズに添っていくことが大事だと思います。

**学長** ●戦後、日本が民主化によって新しい国家となって生まれ変わったとき、日本国憲法や教育基本法で「民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献」など崇高な理想を掲げています。そのためには、なにより国民の教育こそが大事である。しかしながら、日本は経済本位で突き進み、経済大国になったと言っても海外の人々から非難を受けたり、また国内的にはエリートと呼ばれる、高度な教育を受けた人たちがモラルを問わ



「本学園訓は時代や国家を超えた普遍性のあるものです」と語る河村博旨学長

れるような犯罪を犯したり、それは本来の理想を失った、あるいは倫理観・道徳観を軽視しないし無視した教育を受けてきたからだと思うのです。全人格的な教育の本来の目的と、本学の実践する学問・教育の具体論を、一つ一つ確認しながら結びつけていくと、自ずと目指すべき方向が見えてくるのではないのでしょうか。自分は仕事や社会活動を通して地域社会に、さらには人類社会の平和や福祉の向上にも貢献しているんだ、という認識が持てる人間を育てたい。

**理事長** ●確かに戦後日本は、経済最優先であつたけれど、それはやむを得なかったのかもしれない。しかし教育においても知識・

技術が優先され、倫理教育の余裕がなくなつていった、その歪みがいま顕在化してきたのではないのでしょうか。大学まで来てみたら、と言われるかもしれませんが、深く自己を見つめる大学生の時期こそ、倫理教育が必要なのです。そこから、今一人一人が考え直さなければならぬのは、人間の生きる意味とは何か、幸せとは何かだと思ふのです。

**学長** ●本学では一、二年の教養

ゼミでSEL制度と言って、学園訓を中心にした授業・ミッション系で言えば宗教や聖書講義に当たる時間を、週一回必修で行っています。一クラス十五名の少人数で、苦心努力しながら人間性教育・人格教育を行っています。こうした少人数の、密度の濃いふれ合いの中で、建学の精神を植えたという期待しているところです。

**理事長** ●教育は大規模が良いわ

けではなく、質が高いのが良いわけです。本学は、商学部のみならず、一年約四百名ほどですが、この規模だからこそできるきめ細かな密度の濃い教育を目指していくべきだと思います。目的意識も希薄で、ただ学歴のために大学を卒業するというのではなく、社会に出て必要なものを今学んでいるという確証を持てる、教員もその確証を明確に伝えられる、そういうことが大事です。

特に商学は、理論と実践の融合がなければ空理空論に終わってしまいます。そのため、本学は企業でビジネスの経験を積んだ方を教員に採用したり、現在企業の第一線で活躍している企業人を講師に招いたり、理論と実践の融合を図っています。このことも、本学の大きな特徴と言えます。私は、函館大学を、商学部としては日本で冠たる商学部にするべく、いくが願ひです。

## 個人を尊重することから 真の人間教育がはじまる

**学長** ●入試制度も、十一年度入試から新しい試みとして「自己アピール入学試験」を採用いたしました。これは、従来の推薦入学

受ける機会を与えたいという考えで実施するものです。

**理事長** ●現在は、学校の評価と社会の評価は必ずしも一致しません。学校教育は、平均的、画一的な人間を創り出しているとも言えます。しかし、社会では健康であつたり協調性があるとか、個性が豊かであるとか、学校とは違った尺度で評価されるわけです。つまり学校では点数にならない人間性も、社会での重要な評価になるのです。そこで入試でも、特筆すべき能力のある人、独創性に優れた人、そして何より学びたいという向学心のある人など、その人の人間性を重視しようというわけですね。多様な個性を受け入れるこ

とで、学生が互いに刺激し合い切磋琢磨し、そこからまた新たな個性が生まれることを期待します。

推薦に適合する志願者となるか、どうしてもパターン化されてしまつて、中には学校活動以外で高い能力を発揮している志願者がいるはず。志の高くて堅固で向上意欲に燃えた志願者もいるはず。未開発の潜在能力を有する者も……。そうした志願者に、できるだけ大学教育を

とで、学生が互いに刺激し合い切磋琢磨し、そこからまた新たな個性が生まれることを期待します。

**学長** ●中国哲学でも西洋哲学でも、倫理道徳が支配者・君主であり、知識や学問や技術は服従者の地位にあるべきと主張されている。これを失念すると神（純粹理性・良心）を忘れた悪魔や野獣の心を持つ悪人になると。倫理道徳がないから、知識を悪用してしまうことになるのです。学問は人類の崇高な理想のためにあるもので、そこに倫理・哲学が必要になってくるのです。それをもう一度取り戻さなければなりません。だからこそ本学で学ぶ者には、本学の理念



「建学の精神・学園訓の原点に立ち返り、教育を責任もって行うことが大事」と語る野又肇理事長



# 研究室から

## 論文名「ブランドイメージの確立(1)」



教授 赤松 潤

——確かに私たちの消費行動は、ブランドに左右されているところがありますね。

知名度・理解度は「量」として把握できますが、イメージは「質」として把握されます。いくら知名度が高くて、良いイメージを植えつけなければ、消費にはプラスに働きません。では、ブランドの良いイメージはどのように醸成されていくのか、その過程についての基本的な研究です。

——イメージをJunkie、というの

は難しいですね。  
今回は、イメージの醸成を行う場合のプロモーション活動、特に広告表現について述べています。広告表現では、ある種の視覚的・聴覚的の二つの刺激を与えることで、ある種のイメージを植えつけられると考えられます。ここでは、テストバッテリーとして十のイメージを設定し、SD法での測定を試みてみました。今後は、このテーマを段階的に発展させていく予定です。

## 論文名「海外現地法人における人的資源管理の実態」



教授 大江田清志

——この論文の目的は何ですか。

今回は、多国籍経営を展開している企業の日本、東南アジア及びEUの現地法人において、それぞれの人的資源管理(HRM: Human Resource Management)システムを、どう構築し運用しているかを、実証的に把握することでした。これから日本企業も、グローバルスタンダードをとり入れながら人的資源管理を考えていく時代になると思います。

——日本と外国の企業では、どう

いう違いがあるのか。  
日本の場合、終身雇用を前提とする人間中心の雇用制度であるのに対し、欧米では、職務を中心とした流動性の高い制度になっています。したがって、日本の賃金は人についていますが、欧米では仕事とその成果で決まる傾向にあります。これからは、日本でも労働市場原理の影響が強まりますが、これは労働側にとって脅威でなく好機であるという対応が求められるでしょう。

## 論文名「オートポイエーシスと会計言語」



助教授 今井敏博

——オートポイエーシスとは？

もともと生物学から出た言葉で、強いて訳せば「自己創造性」となるでしょうか。これを、ドイツのルーマンという社会学者が、社会システム論におけるコミュニケーションの概念として導入しました。例えば一つの言葉が次の言葉を生む、ある刺激によって何かの言語反応が起きる。そうしたプロセスそのものがコミュニケーションだということです。従来のように言葉のやりとりをコミュニケーションとは考えないのです。

——その概念が会計学とどう結び

つくのでしょうか。  
今行っているのは、従来の会計言語観にオートポイエーシスの概念を導入すると、どのように説明し直せるのかという一つの取り組みです。これはまだ一般的な考えではありませんが、今までの既成概念を打破するという試みでもありま

## 論文名「日本の現在の経営における日本的経営」

—Japanese-Style Management in Japan's Modern



専任講師  
ブライアン・ダッフ

——ブライアン先生の見た日本の経営とは？

大まかに言うと六つの特徴があります。第一は終身雇用制。第二に年功序列。アメリカでは個人の資格・経験で評価されます。第三は非専門性。日本の企業では、総務や人事など部署をいろいろ回されます。第四は集団意志決定。日本はグループで意志決定するのに対し、アメリカではトップが最終決断し、その責任をとりま

——ブライアン先生の日本の経営

の評価は？  
日本の経営の最大の成功は、品質・サービスの均一化でしょう。それも高水準の。これは素晴らしいことです。しかし現在の経済危機やこれからビッグバンに向けては、これまでの日本の経営も変わらざるをえないかもしれませんね。



## 函館の歴史・風土を背景にして より積極的な国際交流を

である学園訓を理解してもらいたい。そして教育の理想である「民主的・文化的国家の建設」「世界の平和と人類の福祉に貢献」を認識できる人間が、そしてそのための具体的実践に貢献

するための日常生活。それが自己の能力開発・自己啓発、さらには自己実現への修行、訓練の日常生活となる人材。これこそ真のグローバルな人材への道と言えるのです。自分の会社だけ、

理事長 ● 本学は、以前より国際交流にも力を入れてきました。函館は安政六年開港、日本で最初に外国へ門戸を開いた都市の一つです。現在でも、外国人の受け入れには開放的な土地柄でもあります。そして函館のような大都市の方が、留学生にとつては家庭ぐるみの交流がしやすく、日本の生活文化に触れやすい面があります。また地方都市の落ち着いた環境を望む研究者も多いようです。本学も外国人研究者・留学生を積極的に受け入れていく予定です。そして、外国人講師を受け入れ、外国語での講義も可能にし、留学生も外国語での講義で単位が取得できる。もちろん日本人学生も、外国語の講義を受けられる。このようなこともやっていきたい。

学長 ● 留学生の受け入れに関しては、昨年まで月々三万円だった奨学金を、今年度から十万円に増額しました。外国人講師の受け入れにも、待遇面や環境面を整えていく方針です。すでに多くの協力を賜っている企業からの講師陣を含め、これだけ多彩な経歴を持つ教授スタッフを持つている大学は全国でも珍しい。崇高な理念や理想を常に認識し、原理・原則の基礎理論から具体的な各論へ、さらに、具体的な実践的応用の能力の開発、実践技術の修得、その開発と修得の習慣・方法。こういうものを総合的に身につけた人材。そして自己各自の使命と責任を、誠実に勤勉に謙虚に愛と奉仕の精神を持って生涯果たし続ける。こういう人材育成が、実現しつつあると思います。

理事長 ● 外国人講師や留学生とのふれ合いの中から、互いに個人を認め合う。そうしたことが、民主主義の原理を知り、本当の意味で国際感覚を身につけた国際社会で通用する人間を育成することにつながると思います。

学生たちは気軽に学長室を訪れ、河村学長と思慮のない意見交換を行うのも函館大学の特徴である



自分の家庭だけが良ければそれでいい、といった低レベルな考えではダメなんです。



## カルチャーショックからまなぶこと

成田亜紀 (四年・北海道・函館遺愛高校出身)

留学は、何もかもが一からのスタートであり、そんなことは人生でそう何度もあることではない！というのが留学を決意した第一の理由でした。不安と希望が入り交じるなか、オーストラリアでの生活が始まったときの気持ちは、「なんとかなるさ」だったのです。

現地で待っていたのは、毎日出る山のような宿題と、賑やかな寮生活、そしてさまざまな国からやってきた友達。オーストラリアという、私はオーストラリア人しか想像していなかったのですが、アジア各国やヨーロッパからの留学生がたくさんいて、まさに culture shock の洗礼を受けました。一つの国にいろいろな国の文化にふれられて、とても良い経験になったと思います。

はじめの約半年は、ELICOSという語学学校に通いました。そこでは、英語の基礎、特に話すことに聞くことに重点を置いた授業を受けます。主なクラスメイトは、韓国や台湾、インドネシアなどからの学生たち。ここでまさに一から英語をやり直し、今年の三月からバラット大学に入ったのです。大学は、オージー英語が飛び交い、まさに実力主義の世界です。オーストラリアの学生たちと同じように授業についていくのは、猛勉強がなければどうして不可能でしょう。



オーストラリア東海岸ネルソン・ベイのほとり

いま私は中国語と英語の二教科を選択しています。中国語もとてもおもしろく、何かひとつ習うたびに、香港やシンガポールの友人たちに使ってみては、そこが違う、などと教えてもらっています。

また、日本人だからこそこできるボランティアにも取り組んでいます。つまり日本語

科などで学んでいる学生に日本語を教えたり、そのお返しに英語を教えるというやり方があります。これはとても良い勉強になります。彼らは、日本人でもよくわからないことをすなおにどんどん聞いてきます。

例えば、着物の袖は何のためにあんなに大きいのか？なんて、分かりますか？いずれにしても、毎日毎日、日本ではできない経験をさまざまな重ねていますから、留学して絶対に良かったと実感しています。

## 個人の存在を強く感じさせられる社会

飯塚普二 (四年・東京都・正則学園高校出身)

バラットに来てからもうすぐ一年がすぎようとしています。日本では想像もしていなかったことをいろいろ体験することができました。日本とオーストラリアとの一番の違いは、国民性にあると思います。例えば日本人だととにかく集まって相談し合うのに対して、こちらでは個人個人がものごとを決めていくことが多いように思います。個々が主体的に行動していて、他人はそれにあまり介入することがないのです。はたして日本では、自分の好きなことをしようとしたとき、回りから何も言われずに本当に自由にできるでしょうか。こちらで暮らしていると、何事も自分から主体的に行動していかなければなりません。それは遊びにもあてはまります。日本のようにいろいろな娯楽があるわけではないので、楽しめることを自分で探して追求する必要があるのです。

こちらでは、インドネシアや香港、タイ、中国、フィリピンなどの東南アジア系の人たちと話す機会が多くあります。彼らからも、また違ったものの見方や文化の違いを教えられる。もちろんオーストラリアの人からも教えられることが少なくありません。こちらの人はみな陽気でバーベキュー好きです。朝からバーベキューにビールというのも、国民性の違いでしょうか。



前列左から二番目が私

私の通っている大学には、バーがあります。学生たちは、お昼や休み時間などによくそこでビールを飲んでいます。私も一度やってみましたが、その後の講義にあまり集中できなくて困りました。こちらのビールは、日本の缶ジュース並の値段です。だからこんな感覚が起きてくるのでしょう。

また、意外に思われるかもしれませんが、オーストラリアは世界一のワイン生産国。安くておいしいワインがたくさん店頭並んでいます。スポーツも盛んで、日本の十分の一くらいのフィーでゴルフができます。

カンガルー、コアラ、エアーズ・ロックなど大自然をテーマにした観光も人気ですが、私の一番好きなのは、広大な草原の夕映えを受けて、羊の大群が悠々と牧舎に戻っていくシーンです。

## 留学生エッセイ



Maree Dunne  
(Ballarat University・'97.10月から'98.3月まで留学生として滞在)



日本に住み、日本の生活様式を経験して、忘れられない思い出ができました。私たちは、本学に交換留学生として学んだ3人、Marnie Srancliffe, Lincoln Butt, Maree Dunneです。

来る前は寒いまちだと思っていたのですが、最初についた日はすばらしく麗らかな日でした。その日、自転車で観光するには少し時間がかかってしまいましたが、函館山からの夜景を3度も観賞しました。生活が始まると、ホストファミリーの家から大学までの道、中心街などにもすぐ慣れることができました。いろいろな祭りや行事に参加できたのも幸運でした。12月のルズツでは、生まれて初めてスノーボードに挑戦。何度も転んでしまいましたが最高に楽しかったです。バラットの冬の寒さは東京ぐらいですから、マイナス15度にもなった日は信じられない思いでした。私とリンカーンは、凍てついた道で何度も転んでしまったのです。

ホストファミリー、大学の教職員の方、学生みなさん、すべての方に心から歓迎していただき、ほんとうにありがとうございました。すばらしい体験でした。日本食も、今までに味わったことのない、一番のおいしい体験でした。なかでもソバ、お好み焼き、寿司、しゃぶしゃぶがおいに入ります。でも納豆だけは、どうしてもその魅力がわかりませんでした。残念ながら、二度と箸をつける気にはならないのです。ここで学んで、日本の大学教育がよくわかりました。講義はあまり議論がなく一方通行で行われました。日本語の力が限られているために教材の理解には苦労しました。でも、素晴らしい体験でした。

時の経つのは速く、五ヶ月が終わりそうです。私たちは、この滞在から学んだことを大いに活用したいと思います。卒業したらまた日本に來たいです。ホストファミリーと函館大学みなさんに心から感謝申し上げます。オーストラリアにおいでの際はぜひご連絡ください。本当にありがとうございました。また会う日まで。“サヨウナラ”。(要約)

Maree Dunne





## 希望を胸に函館大学へ



日比野 和子  
(とわの森三愛高校卒)

思いがけない特別奨学生  
海外留学もしてみたい

私は高校三年間ソフトボールに打ち込み、三年生の時はインターハイで全国三位になりました。そのため、本格的な受験勉強を始めたのは九月からでした。とにかく、悔いが残らないよう、短い期間でしたが精一杯勉強しました。

その結果、思いもよらず特別奨学生となることができました。入学金・授業料が大学から給付されるわけですが、それだけに責任も感じています。函館大学へは、将来秘書系の仕事をしたいと思って入学しました。英語など語学の勉強は、将来必ず役立つのでしっかりと勉強したいと思っています。

また函館大学では、海外の姉妹校への留学制度があるので、ぜひ留学を体験し外国の文化に触れてみたいと思っています。大学ではもちろん、広く多くの人と知り合って、大学の四年間を有意義に過ごしたいと思っています。

平成十年四月、三百九十一名の入学生を迎えて、函館大学は新しい三十四年度のスタートを切りました。それぞれの胸に大きな希望を抱いて、函館大学の門をくぐったことと思います。そうした入学生の中から、函館大学の入試制度を活かし入学した三人にインタビューしました。



加藤 充  
(富山第一高校卒)

推薦入学試験(一般)で  
入学しました

北海道へはずっと憧れていたもので、函館大学に入学できて良かったと思っています。僕の場合は推薦入学制度の一般推薦で受験しました。富山第一高校は高校サッカーの強豪校で、先輩には鹿島アントラーズの柳沢選手がいます。

僕も二年間サッカーをやつてきて、全国高校サッカーにも出場しました。学業とスポーツをある程度両立できたことが推薦の対象となったのだと思います。もちろん、大学でもサッカーは続けます。現在函館大学サッカー部は二部リーグですが、僕が四年生になるまでに一部リーグ昇格をめざしてガンバリます。

大学生活は楽しいですよ。下宿にはサッカー部の先輩が四人もいるので、合宿みたいで毎日サッカーのことなどを話しています。将来は、自分でスポーツ店を経営するのが夢なので、商学の勉強は夢を実現するため。四年間、しっかりガンバリます。



富田 倫人  
(宮城県古川高校卒)

第二期入試を  
仙台で受けました

僕は、第一期入試を仙台会場で受験しました。やっぱり、受験会場が近いというのは気持ちにも余裕が持てますね。入試は「アラカルト方式」で、自分の得意科目で受験できたのも助かりました。また高校時代ラグビー部だったので、課外活動の評価もプラスになったと思います。

今はアパートで一人暮らしです。一人暮らしには慣れていましたが、実際にやってみると食事が大変です。でも大学では、新しい友達がたくさんできて楽しくやっています。全国いろんな所から学生が来ていますが、やっぱり青森とか仙台・山形など東北の人はずいぶん多くなりました。

函館大学の四年間は、勉強はもちろん友達をたくさんつくって、また資格にもいろいろチャレンジしたいと思っています。社会勉強にもなるアルバイトを経験して、少しでも両親の負担を軽くしたいと思っています。

## 平成十一年度入試案内

個性と自主性を重んじた  
函館大学の入学試験

少子化を背景に、受験・就職に対する高校生・大学生の地元志向が強まっていますが、函館大学は「若い頃に未知の土地で学び、仕事をし、自己を成長させたい」という意欲と活力のある学生を今後も全国から集めていく方針です。そのため、魅力ある大学づくりをさらに進めるとともに、函館と函館大で人生の貴重な四年間を送ることの意義を、受験生の心に響く方法で、積極的にPRしていく必要があると考えています。

## ユニークなアラカルト方式

本学では受験生の個性と自主性、そしてなにより本学で学びたいという意欲に応えるべく、独自の方式を実施しています。一つは、第一期・第二期ともに「アラカルト方式」を採用していることです。これは「国語」「英語」「数学」「簿記」「日本史」「世界史」「政治・経済」の中で、試験当日、会場で実際に問題を見てから、受験科目を選ぶことができる方式です。日頃の勉強の成果を十分に生かれます。

「入試会場」(十力所) 函館・札幌・旭川・青森・秋田・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪

## 成績のみではなく課外活動を含めて人間を見る

二つ目は、「推薦入学試験(一般)」において、「課外活動等業績評価制度」を取り入れていることです。これは高等学校長の推薦書とともに、「課外活動等業績証明書」を提出してもらい、学業成績の他に受験者の高校時代の課外活動を加味し、受験生の個性や内面を見ていくことを目的としています。

「入試会場」(七力所) 函館・札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

## 学びたいという意欲に応える

## 「自己アピール入学試験」

三つ目は一九九九年より導入する新しい方式です。

生徒を広く歓迎します。

「入試会場」(五力所) 函館・札幌・仙台・東京・大阪

## 来たるスポーツの才能! 「スポーツ・カテゴリー」

四つ目は、「推薦入学試験」の中の「スポーツ・カテゴリー」枠です。これは本学が定める種目において高校在学中に優れた成績をおさめた生徒を対象とするもので、入学後も該当種目を続ける意志があれば受験することができ、内容としては、競技歴を中心とした書類審査のあと、実技と面接を行います。

(募集種目) 剣道・卓球・硬式テニス・バドミントン・硬式野球・少林寺拳法・ハンドボール・ボウリング(男子のみの募集となる種目もあります)

「入試会場」 函館のみ

## 課外活動等業績評価対象の拡大

推薦、第一期・第二期入学試験ともに、およそ以下のよう項目で、課外活動等業績評価ポイントが加算されます。

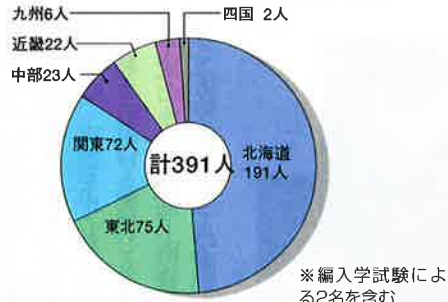
・課外活動(体育・文化)・生徒会活動・奉仕活動・各種大会出場と入賞歴(体育・文化)・簿記検定試験(日商・全商)・英語検定試験(実用・全商)・販売士試験・情報処理技術者(通産省・全商)・TOEFL・秘書検定試験(実務・全経)・ワープロ検定試験(日商・全商)・漢字能力検定試験(文部省認定)

## 学業優秀者に対する「特別奨学生制度」

第一期入学試験における成績上位者の中から面接の上、特別奨学生を選考しています。特別奨学生には、入学から卒業までの学費(入学金・授業料)を奨学金として給付します。

## 平成十年度入学者都道府県別内訳

五〇%近くが本州出身者。本学の特徴の一つが「全国型大学」であることです。



その他、お問い合わせご相談は、下記まで。

## 函館大学入試事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号

フリーダイヤル ☎0120-001172

TEL 0138-57-1181 FAX 0138-57-0298

(平日は9:00~16:00、土曜日は12:00まで)



左より 課員 稲村早苗 課員 荒木弘子  
課員 鈴木克尚 教務係長 岡嶋雅昭  
入試委員長・助教授 今井敏博  
教務課長 黒澤幹生



文武両道を誇る青森の伝統校

東奥義塾高等学校

青森県弘前市大字石川字長者森六二

江戸寛政年間に津軽藩が作った藩校「稽古館」を源流とし、明治五年に創立された伝統校です。明治初頭から英語の原書による授業を行ったり、その時期にいち早く米国へ留学生を送るなど、進取の気概に満ちた国際的な視野による教育がモットー。その精神は今日まで脈々と受け継がれ、「敬神愛人」を校訓に、キリスト教倫理のもと、ひとりひとりの個性を活かした正しい人間性を育む教育が実践されています。学科は普通科の二科で、一年次で一般と特別進学コースに、二年次で文系、理系、特別進学の三コースに分かれます。近年は特に進学率が上昇し、大学をはじめ上級学校への進学希望者は八〇%を超えています。最新のシステムを駆使したきめ細かな受験指導にも定評があります。

藩校からの文武両道の伝統も健在で、クラブ活動も非常に盛ん。冬季五輪の金メダリストを輩出したスキー部、甲子園での活躍も印象的な野球部のほか、バドミントン部、剣道部、弓道部などが全国を舞台に活躍しています。



歴史が生きる女子ミッションスクール

函館白百合学園高等学校

北海道函館市山の手二六三

白百合の花は、聖母マリアのシンボル。一八七八(明治十二年)に米国人のフランシス・シヤトル・セント・パウル修道女会の三人の修道女の意志を受け継ぎ、一八八六(明治十九年)に開校した、歴史と伝統を誇るカトリックの女子ミッション・スクールです。「従順」「勤勉」「愛徳」を校訓とし、キリスト教精神に基づいて正しい世界観と道徳的信仰を養い、愛の心をもって社会に奉仕する人間の養成を目指しています。ここで学ぶ少女は、聖書の有名な言葉「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」の真の意味を、たぐさんの出会いや祈りを通して理解することができると言われています。

広いキャンパスには共同生活をするふたつの寮もあり、校内のカフェテリアやチャペル、コンピュータ室などの洗練された施設群も人気を集めています。進学先となっている東京の白百合女子大学、宮城県の仙台白百合学園をはじめ、東京の白百合学園、神奈川県湘南白百合学園など、全国に広がる姉妹校との交流も盛んです。



幅広い実践力を志向。進学実績も上昇中。

武蔵越生高等学校

埼玉県人間郡越生町上野一六七

一九六〇(昭和三十三年)、埼玉県越生町に建築科と木材工芸科の二科で開校。「行うことによつて学ぶ」という実践的な建学精神のもと、県内外に様々な人材を送り出してきました。一九六五年からは普通科を設置、昨年度再編された同校は、一年次で総合進学コースと特別進学コース、体育コースの四つに分かれ、進学コースの三つは、個性と適性を活かした進学を目的に、二年次にさらに五つに編成されます。この新編成により、希望大学へ現役合格ができる高校としての評価がより高まっていくものと期待されています。また、体育系大学への進学や社会体育の指導者の育成をめざす体育コースも、ユニークな人間教育を展開しています。建築界のスペシャリストをめざす建築科は、実習を中心にした実践的なカリキュラムが特徴で、最新の設備を駆使した専門教育が行われています。平成七年には鉄筋七階建ての新校舎が落成。学習からクラブ活動まで、全ての面で先進の環境が整いました。



聴講生紹介

英会話を勉強中。異文化を知ることが、日本文化を再認識することでもあります。

函館大学では「地域社会に還元される学術機能(開かれた大学)」を目指し、積極的に大学開放事業を行っています。その中の一つとして、地域の人たちの向学心に応えるべく、広く聴講生も受け入れています。

工藤 寿美子さん

函館大学の聴講生制度は、一単位につき三千元(年間)の聴講料で誰でも講義を受けられる制度です。現在、英会話や中国語などの語学を中心に十七名が聴講生となり、その多くは主婦の方たちです。

工藤寿美子さん(五十一歳)は、小学校教諭の経験をお持ちで、以前から子育てが終わったら、もう一度勉強の機会を持ちたいと思っていたそうです。函館大学の聴講生となったのは今年の四月からで週一回「英会話」の講義を受けています。

では、英会話の勉強をしたいと思ったきっかけは、何だったんでしょう。

「二六、七年前から、函館に来る外国人留学生のホームステイを、我が家で受け入れたんです。最初は、韓国人の社会人留学生でした。私も二年前には、アメリカ・アイオワ州に一カ月間ホームステイをして、現地の人たちに日本語や日本語



▲授業中の寿美子さん。「ネイティブな先生に教えられるのは、とてもいい勉強」。



▲息子の亮くんも函大の四年に在学中

化を紹介する経験をしてきました。そして去年は、函館大学に来た留学生マリィーを、約半年間ホームステイさせました。そうした留学生たちの、日本文化を学ぼうとする前向きな姿勢に刺激されたのでしようか、それと自分自身意外と日本文化を知らないな、と思ったからです。

「息子と同じ年代の人たちと接しているうちに、息子の気持ちも理解するのにな、少しは役立っているかもしれないね」と、寿美子さんは笑う。

そして、「英会話の他にも、聴講できる講義がたくさんあるので、もっと函館大学の聴講生制度を多くの人に知ってもらいたいですね。特に主婦の方は家に閉じこもらず、いろいろな場に参加して、自分の世界を広げてみてはいかがでしょうか」と語ってくれました。



▲昨年、寿美子さんの家にホームステイしたマリィー・ダンさん(右端)とのスナック



## 平成十年度就職戦線の展望と九年度就職実績

●就職部長 大江田清志

## 平成十年度就職戦線

内外における金融不安を契機とする経済不況は、最近の日銀短観などにもあらわれているとおり、いっそう深刻な度合いを強めています。その就職市場への影響は、昨年以上に厳しいものになると予測されます。企業の人事政策は、長期にわたりリストラ基調にあるため、新卒需要のバランスが一気に崩れることはないと思われませんが、ここ数年における積極採用の反動が危惧される傾向にあります。

採用活動が長期化するなかで、段階的に内定出しを行う企業も出ています。採用形態の多様化が進んでいます。総合職・一般職採用に加えて、営業・システム・金融といった特定の職種別採用を併用するケースが増加する傾向にあります。また、オープン・エントリーの流れの中で、電話・ファックス・メール・インターネットなど、応募の形態も多様化してきています。

## 学生に求められる変化への対応

企業による採用活動の早期化と多様化  
昨年度における採用活動段階のピークは、会社説明会が四月、筆記試験と面接試験が五月、内定出しが六月というスケジュールが一般的でした。本年度は、それぞれのピークが半月程度さらに前倒しになる見通しです。一方で、

企業の採用活動の早期化は、学生の職業観の確立および志望業種・企業の選択時期の早まりを意味します。必要な時期になすべき準備や行動を怠ると、取り返しのつかない結果になります。また、採用活動の多様化への対応が求められます。とくにメール・エントリー制の

増加により、自己分析や自己の業績を基礎とする自己表現ならびに企業・職種研究の重要性が高まっています。

## 就職部の対応

就職部としても、採用・就職活動の早期化と多様化に向けた取り組みを強化しなければなりません。本年度は、とりあえず四年

生向けの最大のイベントである業界研究会の実施を二週間近く早めました。その模様は写真にある通りですが、東京・札幌・函館の企業を中心に六十六社・八十五名の人事担当者の参加を得ることができました。学生の参加も二百名に達し、これにより見込み就職企業数二百二十社のうち五十社程度の採用実績が期待されます。

## 平成九年度就職実績の検証

平成九年度就職戦線は、就職協定の廃止と緩やかな景気回復の流れの中でスタートしました。しかしながら、その後わが国を含むアジア諸国で金融危機が相次いで発生し、これを契機に、景気は一気に減速、停滞、低迷へと振れることになりました。

本学の就職実績にも、このような動向の反映がありました。すなわち、平成九年度の前半は企業の採用意欲

が盛り上がる中で、大手企業から採用内定を得る学生も目立ち、内定率は前年に比べ好調に積み上げられました。しかしながら後半に至り、企業実績は悪化。就職未内定学生が頼みとする中小企業セグメントにおける求人需要は先細りとなりました。

## 就職部からのニュース

## 公務員受験対策講座の開催

本年度から、公務員ニーズにこたえるため、公務員受験対策講座を夏期・春期集中講義方式で開催します。東京から専門講師を招聘し、担当していただきます。

- ・夏期講座：平成十年七月十三日～十七日（五日間）
- ・春期講座：平成十一年三月八日～十八日（七日間）
- ・受講料：二万五千円程度（兩講座参加、三回の模擬試験、教材含む）
- ・主対象：一年生～三年生

## 就職合宿セミナーの開催

本年度から、就職合宿セミナーをスタートさせます。カリキュラムは、面接の場における自己表現能力の強化を最重要課題として設定いたします。企業の人事担当者をメイン・トレーナーとして迎え、実践形式で進めます。

- ・日時：平成十年十二月十一日、十二日（二泊一日）
- ・参加費：二万三千円（宿泊・食費・教材費を含む）

## 企業紹介のお願い

就職部では、学生のご父母および本学関係者から、本学学生の採用に意欲的な企業の紹介をお待ちしております。お心当たりの企業がありましたら、是非就職部まで一報ください。

## ビジネスマナー

## 新入社員と議事録



専任講師 津金孝行

学生の皆さんは、議事録と聞くとどのようなときに書くと思いますか？中学、高校ではクラスの会議や生徒会の会議、大学であれば自治会などの会議で書記として任命された特別な人が書くものと考えられるのではないのでしょうか。ところが、学生時代には縁のなかった方でも入社して各部署に配属されるとすぐに議事録作成の仕事が与えられます。議事録作成は、新入社員でもできる仕事だからといって、簡単で重要性が低い仕事というわけではありません。むしろ会社生活のなかで重要であり、作成の難しさも奥が深く、そして機会も非常に多いのです。

では、どのような時に議事録を作成するのでしょうか。課や部の会議、プロジェクト会議などはだいたい想像がつくと思います。もうひとつ重要な場面として取引先との打ち合わせがあります。そこでは、価格、期日、仕様、検討事項などについてお互いに確認をとる必要があります。口頭の確認では後でもめることがあります。大小を問わず、要求がなくても進んで議事録を作成し互いに確認を取りましょう。議事録は極力早く作成する方が参加者の記憶が鮮明で確認がスムーズです。

新入社員が経験する初めての議事録作成は、ビジネスマンが誰でも体験する試練です。新入社員がこれを担当する意味はふたつあります。ひとつは、仕事で使う言葉の意味を理解することです。最初は、会議で飛び交う言葉がまるで外国語のように聞こえるでしょう。わからない言葉はそのままにせず、先輩に質問してください。もうひとつの意味は、会議で話されることを集中して聞き取り、何が仕事の中心の話題なのかを理解することです。

私も新入社員の時、議事録作成でずいぶん苦しみました。初めて書いたものを上司に見せたところ、赤ペンで真っ赤になるほど修正箇所が指摘されました。直してもまた修正となり、たった3ページの議事録作成に1週間もかかりました。議事録作成は、経験を積むほど良いものを書けるようになります。入社したら積極的に議事録作成に取り組んでみてください。

%をはるかに超える実績です。総じて本学学生は、厳しい就職環境のもとで健闘したと評価できる結果を収めることができました。

つぎに、平成九年度就職実績における特徴的なポイントを紹介いたします。

## 就職先企業規模の拡大

平成九年度は、大規模企業への就職率が拡大しました。資本金十億円以上、一億円以上セグメントへの就職率がそれぞれ二七%、三三%で、その合計は六〇%となります。これは、バブル経済崩壊以後では最も高い数値です。従業員規模別に見ても、三百人以上の企業への就職は、近年になく過半数となりました。

本社が関東地区にある企業についてみると、全体の四七%（七十八社中三十七社）が資本金十億円以上の企業で占められています。これは、平成八年度の実績を一・五ポイント上回ります。近畿所在企業においても、十億・

## 資本金規模別就職実績

平成8年度	平成9年度
6%	5%
14%	14%
26%	21%
30%	33%
24%	27%
公務・団体等 3,000万円未満	
3,000万円以上	
1億円以上	
10億円以上	

一億円以上の企業の割合が七六%に達しています。

## 全国的な就職先の分布

学生が就職した民間企業総数は二百二十五社を数え、企業の本社所在地の地域別構成は、概ね札幌・函館を中心とする北海道内が三〇%（六十六社）で、東京を中心とする関東・東北地域五〇%、中部・北陸以西地域が二〇%になっています。

## 流通業をはじめとする多様な業種・業態への就職実績

就職先企業の業種構成を見ると、商学部商学科の特性を反映してか、卸小売・外食産業が全体の五〇%を占めています。とりわけ厳しい業界環境の中で採用抑制の続く金融・保険業が、一〇%の二桁台を回復したことも注目され、採用企業の中には地銀クラスも散見されます。サービス業シェアは一七%で、近年増加傾向を示していますが、平成九年度は、とくに整備やビル・メンテナンス企業などによる積極的な複数採用を反映している部分が多分にあります。



## 商品を科学的に見る目をやしなう

商品ゼミナール 教授 上平幸好

商学で扱う商品には、ふたつの面があります。ひとつは、市場との関係を重視したもの。もうひとつは、モノとしての商品そのものに注目する方向。前者はマーケティングですが、当ゼミでは、後者の切り口から、現代の消費生活の基盤であるモノそのものの商品鑑定の科学的な研究に取り組んでいます。食品・飲料や繊維など生物系の素材を対象に、専門の文献を当たって論文を作るメンバーと、実際に科学実験を繰り返してデータを取るメンバ



## ダイナミックに運動する企業組織にせまる

経営組織論ゼミナール 助教授 藤嶋 暁

製造、運輸、流通などさまざまな分野の大企業の活動内容を具体的に調べながら、「組織」とそれが動かす「情報」や「創造性」といった切り口から現代の企業活動を分析しています。宅配便やドライブインなどに顕著なように、今日の社会は、市場を自ら作り出していく創造力を企業に求めます。そうした事例を細かく調べ、実際に企業に取材するなどしながら、企業が巨大な組織として時代とどう関わっているかを追求するわけです。「失敗した事例からわかることが大きいですね。組織の運営は感情とは無関係とはいえず、それを作った動かしにくいのはやっぱり人間なんだ、と思いつたりします」とゼミ生。インターゼミで本州の大学のゼミと交流を図ったり、家電・情報機器メーカーでの海外勤務が長かった先生の具体的な経験も吸収しながら、生きた商学を果敢に実践しています。



## 数値から企業をどこまで見るか

経営分析論ゼミナール 専任講師 佐藤元治

金融機関や投資家、取引先などの側から、経営分析の手法の基礎を学びます。財務諸表がしっかりと読め、企業の会計情報を正しく把握できる力をつけることが目標。融資や投資、取引のために、企業がディスクローズしている決算書の数値をいかに正しく的確に読み込むかが重要です。大手証券会社の海外部門に在籍していた先生ならではの指導から、時には表



面からは見えない企業会計の裏側もかいま見ることが出来ます。「例えばライバル企業」の数値を比較したり、インターネットを上手に使ったり、幅広い情報ソースから内幕を推測したり、いま現在動いている企業活動のダイナミズムを、数値によって理解していく方法を身につけてほしいのです。また、ゼミは友人との出会いや交流の場であるという精神から、ゼミ生同士、先生と学生は勉強ばかりではなく、いつき合いも楽しんでいます。

## インターゼミ参加報告

楽しみながら取り組めた論文

津金ゼミ 四年

●木村 康 (青森県立山形高校出身)

私たちが参加したインターゼミは、福岡で開催され、全国の大学から約三千人が九州産業大学に集まりました。津金ゼミでは、二チームに分かれ、全員で参加することになり、主に「電子商取引」に関して論文を書くことになりました。



津金ゼミの学生。木村君は後列右端。

書き始めたのは夏休み明けからで、完成するまでには約二カ月を要しました。毎日のように集まっては、論文の組立や文章の推敲を重ねたのです。そうしてようやく完成した論文を引つ提げて、我々は福岡に乗り込みました。函大とは比較にならないほど大きな敷地や校舎、人の多さに圧倒されながらも、二日間にはわたり熱く意見を交わし、今後の「電子商取引」について大いに語り合いました。この経験を通して、論文を書くということとが想像していたほどには難しくないことが実感できました。そして何よりも、楽しみながら取り組めたことが一番の収穫であったと思います。

藤嶋ゼミ 四年

●野呂 大嗣 (青森県立五所川原商業高校出身)



私のゼミはある企業を取り上げ、その企業の「経営戦略」を事例とし、デスクッションを重ねる中で自己能力を高め、社会に出てからも通用する人間になることを目標に努力しています。ゼミ生活の中で最も充実感を感じたのは、

毎年参加する日本学生経済ゼミナール大会に参加するための論文作成と、それを基にして各大学と討論を交わし、互いの交流を深めることの出来た時です。主に今までスポーツでしか充実感や楽しさを味わったことがなかった私には、初めは結構きつものがありました。が、次第に論文作成にのめり込み、勉強したことがどんどん吸収されていくような気がし、心地よい成就感に浸ることが出来ました。また、全国のゼミ生との交流により、以前より一層広い視野で物事を考えることが出来るようになったような気がします。

## 委員会だより

### 電算委員会から

●電算委員会委員長・助教授 若松 裕之



最新機種を導入し一新したコンピュータ実習室

電算委員会では、かねてより学内のパソコンの更新に向けて準備を進めてきましたが、このたびNECの最新機種PC9821 Ra II 23の導入を完了、四月から稼働を始めています。文部省の助成を受けて、導入した台数は情報処理室に六十台、研究

室に三十台の計九十台。もちろんインターネットに接続しています。授業では「情報処理基礎演習」「高級言語演習」などの実習に活用していますが、常時開放していますので、学生には空き時間・放課後も自由に活用できるようにしています。まず触れて、体験して、コンピュータに慣れもらい、情報の収集ツール、さらには自らの情報発信ツールとして積極的に活用してもらいたいと思っています。



また教員にとっても、インターネット、電子メールなどを活用しての情報収集・発信、資料・論文作成の大きな武器となるでしょう。現在既に、本学のホームページを開設していますが、今後はさらに内容の充実を図ると同時に、高校向けへの入試情報や、同窓会のホームページも開設していきたいと考えています。







函館三菱ふそう自動車販売株式会社



取締役社長  
山村 幸生

エリア内販売エリア国内トップを目指す  
函館三菱ふそう自動車販売（株）は昭和四十二年四月創業、三菱自動車のバス・トラックなど大型車両の販売会社です。渡島・檜山管内を販売エリアに、四ノ宮カーのシェア争いとなっている大型車両で、同社は常にトップのシェアを維持。さらに全国に四十五ある三菱ふそう販売別子会社もシェア獲得率は関東以北でトップ、全国トップ販売と比べてもほんの僅差でいつまでもトップを走る状況です。



「トラック販売は、景気のバロメーター」と語る山村社長、現在日本の物流が主にトラック輸送に支えられていることを考えれば、トラックの販売が伸びるときが、すなわち景気が好況だと言えるわけです。今後は「農産物・水産物の加工などの地場産業や、観光産業が伸びていくことを期待したい」と言います。

山村社長は、日本自動車販売協会函館支部長、函館商工会議所常任議員など数多くの公職も務めています。中でも函館商工会議所の情報推進委員長として、地域の情報通信分野の発展、会員企業の情報ネットワーク化の先頭に立って尽力しています。これからの時代、やはり情報を経営戦略に活用できる人材が望まれています。その意味では、地元の函館大学で学んだ人たちに、大いに期待したい。

ス正教会、この付近のたくさんある坂の中で最も有名である西高等学校前の八幡坂、元町公園の少し高台にある旧公会堂とさまざまな異国情緒あふれる建築物を見ることができました。また、元町公園では、そこから見下ろした風景がとて素晴らしい、まさにこのあたりは「もうひとつの函館」を見せてくれるなあと実感しました。

函館では、このような元町地区を見てわかるように、歴史感あふれるものを気軽に味わうことができます。このまらに暮らしているのなら、ぜひ一度元町地区に行ってみることをおすすめしたいと思います。

元町散歩

田辺篤洋（三年、函館大学付属有斗高校出身）

函館は、北海道内の都市の中では一番歴史のある都市です。ということ、他の都市では見られないものがたくさんあります。街中を走る路面電車や、さまざまな歴史的建造物がそれにあたります。

中でも良いところだなぁと思うのは元町地区です。函館に来てからもう数年になりますが、一度だけこの元町地区をゆっくりと散歩しました。元町カトリック教会の前から元町公園に向かって散策しましたが、ここは本当に自分の住んでいる都市の一画なのかと思わせるほど、私が今暮らしている地区とは同じ街なのに全く異なった風格をただよわせていました。元町公園に着くまでの途中には、ロシア正教の教会であるハリスト

一年前に本学に着任して最初に足が赴いたのは、大森浜であった。海峡の彼方に下北半島がくっきりと浮かぶ。学生時代、数度、大間から北海道を眺望したことがある。しかし、かつて下北から見た函館に暮らすことになった感慨に耽ったのは、束の間のことであつた。異臭、そしてごみ捨て場と化した大森浜に愕然としたからである。

以来、この素晴らしい海岸線と景観を持つ大森浜が函館山の夜景と同様、潜在する観光資源であることなど、機会あるごとに主張してきた。湯川から立待岬まで海岸沿いにサイクリング道を兼ねた遊歩道があつたらどんなに素晴らしいことかと……。

本来、街の景観とは歴史と文化を、そして今暮らしている住民の意識を反映したものであろう。現在の函館から歴史や文化が感じられないのも、また自然の景観が失われているのも、われわれ住民の意識のなごの現れであらう。歴史的建造物や自然環境の保護、保全が唱えられていること自体、歴史や文化、それに自然が根づいていない証左である。かつて私が旅行したノルマンディやブルターニュ半島の浜辺にはゴミひとつ落ちていなかった。そしてそこには散策する姿があり、自然との対話を楽しむ光景があつた。街の魅力や育む住民の意識が函館の景観となつて現れるのはいつの日のことか。大森浜から見た函館の「展望」が行政の優先課題と私はあえて言いたい気持ちである。

私の函館散歩  
大森浜

助教 田部井英夫



いらっしゃいませんか、函館へ  
A Sketch of Hakodate

食館

いい店  
食べ歩き

雰囲気、メニューは家庭的でも  
手作りにこだわる味はシェフの味

レストラン サンマリノ

●小松 美雅（三年、大館鳳鳴高校出身）  
山口 増美（三年、狭山経済高校出身）  
住宅街の中に、「軒家風の佇まいを見せるレストラン「サンマリノ」。

開店は昭和四十六年、当時として珍しいイタリア料理店としてスタートしましたが、またイタリア料理に馴染みのない時代だっただけに、メニューを徐々に広げながら家庭的な洋食の味を作り続けてきたお店です。現在のお店は、五年前に移転したものです。

メニューは全席で六十種類以上。スパゲティ、七種、ピザ八種、カレーが十一種類とバリエーションが豊富、そのほかステーキ、ハンバーグ、カツ、シチューなどお馴染みのメニューが並んでいます。今回のお店を推薦してくれたのは、「小



▲魚介類が沢山のトマト風味のシーフードスパゲッティ（1200円）。鶏の骨付きもも肉を煮込んだフランス風チキンカレー（1200円）。ビーフシチューのついた盛り合わせセット（1800円）。カニクリームコロッケが美味しい盛り合わせAセット（1300円）。



▲「家庭的で、女の子同士でよく来ます」と小松美雅さん（右）と山口増美さん（左）。

松美雅さん（三年）と山口増美さん（三年）。「家庭的な雰囲気、このお店に来るとホッとした気持ちになります」と小松さん。山口さんは「女の子、四人の仲良しグループで来るのに、ちよつといのお店なんですね」とのこと。

で、二人が共通のおすすめ料理は「トリフシチュー」。「お肉がとろけるくらい煮込んであって、ソースもとてもおいしい」（山口）という美味しさの秘密は、年中火がききまにか、永年味を守り続けていく独自の「デミグラスソース」です。

サンマリノではソースはもちろん、ドレッシングにいたるまで手作りにこだわって、カレールも独自にスパイスをブレンドして作っています。

いろいろな味を楽しみたい人には、盛り合わせメニュー（四種・一三〇〇円）がおすす。気軽にランチもいければ、大人の方はワインを飲みながら夜の食事を楽しんでほしいかです。

サンマリノ  
函館市花岡町21-10  
☎（0138）53-6433  
営業時間は  
11:30~14:00、  
17:00~21:00  
（ラストオーダー  
20:30）。木曜定休。



## 二十一世紀の経済学は――



二十世紀も残り  
一年半。二十一世紀  
の経済がどのよう  
に展開するのか、気  
になる問題です。こ  
の本では、平成不  
況（一九九一―一九九三）後の日本経済の特長に注目  
して、二十一世紀における日本経済（資本主義経済）を  
展望しています。

特長の第一として、「経済のソフト化」（サービス化、情報化）を挙げています。先進国では第三次産業の比重が高まり、モノ作りの経済（工業化社会）から「情報・ソフト」に重きをおく経済（ポスト工業化社会）への転換が進んでいることです。

このような過程で、モノ作りの拠点が、高賃金の先進国（日本）から低賃金の途上国（東アジア諸国）に移り、先進国（日本）の経済成長は低い水準に抑えられる傾向にあります。このため先進国では、新製品を創造する技術開発や、適正消費、省エネルギー、リサイクルなどを目指す「環境調和型社会文明」を作ることが求められるようになっています。

第二は、国際化に伴う南北問題、貿易不均衡、資源エネルギー、地球環境、人口問題など、グローバルな国際問題が多発していることです。特に途上国の人口爆発と急速な工業化によるエネルギー消費の急増、地球環境の汚染が深刻化することが予想されます。このような「市場」のみに委ねることができない難問を著者は「二十一世紀のマルサス問題」と呼び、これらに答えることが二十一世紀の経済学や社会科学の重大な課題であると結んでいます。



資本主義の再定義  
佐和隆光

## 日米同盟はどこへ向かうか



教授 坂野 学

本書は題名からわかるように、日米同盟をあつかったものです。冷戦後のアジアの安全保障について、日本とアメリカでは考え方が一致していません。そのため、何か事が発生するたびに対応に苦慮するという事態になっています。朝鮮半島の有事の問題、あるいは台湾海峡の危機管理問題など、次々に起こる国際問題に対して、日米両国はどのように処置しているのかを、本書は克明に描いています。

「同盟漂流」と聞けば、一言前ならば「同盟」関係にあることによって日本が主体性を失って「漂流」する、というイメージでとらえる人が多かったはずですが、しかし、ここでいう「同盟漂流」とは極めて新しい事態を指しています。日米双方ともに「同盟」を根付かせることができず、「同盟」自体が「漂流」した、という意味です。著者船橋洋一はこの「漂流」に危惧し、今後「同盟」をどのように有効に活用していけばよいのかを説いていますから、ぜひ一読をお勧めします。



同盟漂流  
船橋洋一

## 日本語の豊かさを再確認



教授 荒木 弘子

ふだん何気なく耳にしたり口にする言葉には、「意味」を考えて使うよりも「慣れ」で使ってしまうことのほうが多いように思う。本書を書いた理由を、著者の喜春姐さんは「若い人達が、昔からのたぐいことの意味を本来の意味と正対に取っている、こうした間違いを正しく説明しておきたいの思いから」と述べている。そうして書かれた本書は、まさに「たぐいこと」の辞典である。

「ああ言えばこう言い」で始まり、いくつもの解釈がされている「秋なすびは嫁に食わずな」よく耳にする「雨橋を叩いて渡る」、なぜ「大風が吹くと桶屋が儲かる」のか、私自身いつかは使ってみた「細工は流々仕上げをこ驚じろ」となる程と思った「二階から目撃」などの語を、その意味・謂われとともに著者喜春姐さんの人生経験を通して綴られている。

テンポも良く、時には謙虚な気持ちになりながら読み進んだ。言葉とは面白いもの、味なもの、と実感。使ってみたくなったので、先日友人に喜春姐さんの著書数冊とともに渡した。その内、会話の中に本書の語が出てきて、お互いニマリ出来たと思う。



喜春流  
味なことば  
中村喜春

## スポーツ雑記



教授  
石井 晋良

忘れ去られている。私も、職業柄、日頃から机に向かう時間が多く、スポーツをする機会が少ない生活を送っている。以前は草野球をしたり子供とサッカーをしたり、公園を散歩する生活もあったが、年をとるにつれて外に出てスポーツをするのも少なくなった。

その結果、当然運動不足になる。足腰は衰える。健康の維持にとってマイナスである。健康食品に関するコマーシャルが連日あふれているが、人間にとって真に健康を維持する方法は、まぎもって体を動かし、スポーツをし、健康な汗を流すところから始まるのではないだろうか。スポーツをした後の爽快な疲労感なんとも言えない良い気持ちである。私もこの心地よい疲労感を感じばらく忘れてしまったようだ。仕事と雑用に追われる毎日だからである。

野球、サッカー、テニス、水泳、ゴルフといういろいろなスポーツを趣味としてやっていたが、最近では、ゴルフを月に一、二回プレイする程度である。これでは運動不足は否めない。健康のためには、人は何かのスポーツを週二回、三十分から一時間程度行う必要があると言われている。しかしそれがなかなか実行できないのである。強い意志を持って、毎日の生活のリズムの中にスポーツを取り入れて定着化させる必要があると

現代社会は我々に、いろいろな「便利さ」「快適さ」を提供してくれるが、幸か不幸か、我々はその恩恵に甘んじた生活習慣を身につけてしまっている。特に「車社会」が定着してから、我々は歩くことを忘れてしまったかと思われ、昔に比べて歩かなくなっている。ちょっとした近くのお店に買い物に行くにも、すぐ車を使ってしまふ。人は、樹上生活から地上に降りて二足歩行を始めることで猿と決別して以来、元来歩くことを生活の基本としてきた。

ところが文明が進歩するにつれて、人は「速さ」「便利さ」「快適さ」を求める生活に移行してしまつた。その行き着いた先が現代の我々の生活習慣である。歩くことを忘れ、体を動かすことを忘れ、家事の大部分は機械に代替してやつてもらふ。休みの日は家で、オーディオ・ヴィジュアルの世界を楽しむ。スポーツをして、汗を流す生活が

### スポーツがくれるもの

スポーツにはまた、別の楽しみ方もある。「見るスポーツ」である。昔は野球（高校野球やプロ野球）が見るスポーツの代表であったが、現在では、スポーツの多様化や一般化に伴い、野球だけではなくサッカー、バレーボール、バスケットボール、ゴルフなど見えて楽しむスポーツのカテゴリーに入ることになった。週末のテレビ番組を見ると必ずこれらのいずれかをテレビで楽しむことができるのである。

ところで昨年の見るスポーツの代表は、サッカーであった。Jリーグの発足当初の人気こそなかった感はあるが、ワールド・カップのフランス大会への日本チームの初出場がなるかどうかをめぐって、日本中のサッカーファンを含め、多くのスポーツファンが予選結果に一喜一憂したのは記憶に新しいところである。

一次予選を突破し二次予選（最終予選）の最初の試合は、ホームでのウズベキスタン戦であった。この試合は六対三で楽勝したが、次のアウェイでのUAE戦では点が取れず、0対0の引き分けに終わった。そして、最終予選における前半戦の最大の山であるホームでの韓国戦では、終盤までリードして勝てる試合であったが、試合終了間際に逆転され、結局二対一で敗北を喫してしまつた。ふつうサッカーの国際試合では、ホ

ームでの試合は勝つか、あるいは悪くても引き分けるのが鉄則とされている。勝てるホームでの試合を落とした日本の前途は多難であると思わせた。案の定、次のアウェイでのカザフスタン戦とウズベキスタン戦は引き分けに終わった。日本チームのシュートの決定力不足が露呈してしまつたのである。

こうした状況の中で、日本チームの自力出場の可能性が一時なくなったこともあったが、最後まであきらめないで、アウェイでの韓国戦に最後の望みを託すことになった。この試合は日本の気力が充実し、韓国戦では珍しく二対〇の完勝であった。この時点で、自力出場の可能性が出てきた。最後のホームでのカザフスタン戦は韓国戦での勝利をバネにして五対一と楽勝し、アジア第三代表の座をイランと争つことになった。十一月十六日、マレーシアのジョホールバルでイランと激戦の末、延長戦の後半、試合終了間際、岡野のVゴールで三対二と辛勝し、一九五四年、ワールドカップ予選に初参加して以来、四十四年目にして悲願の初出場を達成したのである。

この一連の戦いを振り返ってみると、私には人生の縮図を見ているように思われた。山あり谷ありの人生そのものであった。スポーツは「筋書きのないドラマ」であるといふ言われる。何が起るか誰にもわからない。日本チームのワールド・カップ初出場の経緯もまたそうであった。だからこそ、スポーツは見て楽しむことができるのであり、その意義もあるのである。

それはともかくとして、六月十日からはじまるフランス・ワールドカップでの日本チームの活躍を心から祈念しようではないでしょうか。



こんにちは。  
学友会です。



●学友会執行部総務局長

今野博一

山形市立商業高校出身

私たち学友会執行部は、函館大学学友会を運営していくための団体です。活動としては、重大事項の決議を行う中央委員会や運営委員会を執り行ったり、リーダー研修会などの企画の立案、運営など。体育局会や文化局会の運営も行っており、現在、文化局に所属しているクラブの発表の場として二号目となる、文化局活動冊子の作成を予定しています。他には、函館学生献血推進協議会に参加して献血の普及啓発を図ったり、交通安全推進部を組織して学生の交通安全意識の向上を目指しています。

現在の主な企画はふたつ。ひとつは、本会の活動を広く知ってもらうために、インターネットのホームページを作成しています。ふたつめは、学友会のキャラクターである「カンペー」をPRするために、オリジナルのグッズを制作することです。



執行部スタッフ一同（前列左から3人目今野局長）

## 平成十年度公開講座のご案内

●公開講座委員長 西村 淳

平成十年度の公開講座の予定がほぼ決まりましたので、報告申し上げます。九年度はコンピュータの更新が遅れたために実施に支障をきたしましたが、ようやく機器もそろい使用可能な状態となりました。そこで今年度は、みなさんの関心の高いウィンドウズやインターネットを含めたパソコン講座を予定しています。

また従来、文化講演会は本学の希望する講師が大学祭開催日に予定がつかない場合が多いという問題がありました。今年度は、大学祭当日には娯楽性の強い「古典落語の楽しみ方」を入れ、文化講演会は講師の都合の良い日程を選んでいただくことになりました。皆様ふるって参加くださいますよう、ご案内いたします。

- 教養文化講演会**  
日程未定 講師未定
- 海外事情講座「パリとフランス—フランスから学ぶこと—」**  
6/20 田部井助教授
- 教養語学「やさしい英会話講座」**  
8/26～28 高月教授 ダッフ専任講師
- 教養文化「古典落語の楽しみ方」**  
10/18 講師未定
- 教養講座「英語音声学入門 —イギリス英語の発音—」**  
11/21 田中専任講師
- 教養専門「はじめてのパソコン講座」(ウィンドウズパソコン)**  
12/3～4 若松助教授
- 教養専門「はじめてのパソコン講座」(インターネット)**  
12/10～11 津金専任講師
- 教養専門「はじめてのパソコン講座」(表計算)**  
平成11年2/16～17 世良専任講師
- 教養専門「はじめてのパソコン講座」(ワープロ)**  
平成11年2/18～19 西村助教授



林家錦平師匠



林家鉄平師匠



## クラブ戦績

### 開校以来の快挙！

ハンドボール部二十三連覇に続き、  
羽根球部(三季連続)、軟式庭球部  
(創部以来初)剣道(個)柔道(個)  
全道優勝！



### 柔道部

都道府県対抗第十四回全日本  
女子柔道大会北海道予選大会  
平成十年五月五日(札幌市)

●成績  
(無差別級)  
澤田裕美(二年) ベスト八  
正力松太郎杯第十回北海道  
学生女子柔道体重別選手権大会  
平成十年五月(四日)(紋別市)  
●成績(七八kg級以下)  
澤田裕美(二年) 優勝  
(全国大会出場権獲得)

### 剣道部

第三十五回北海道学生剣道  
新人戦大会  
平成九年十月二十五日  
十月二十六日(札幌市)

●成績  
団体 優勝  
個人 優勝

### ハンドボール部

平成九年男子第四十回女子三十三回  
全日本学生ハンドボール選手権大会  
平成九年十一月十一日  
十一月十六日(神奈川県)

●成績(ベスト十六)  
第二五回北海道学生ハンドボール  
春季リーグ戦  
平成十年五月十三日  
五月十七日(札幌市)

●成績  
一部リーグ五戦 全勝 優勝  
(二五連勝三連覇三三度目)  
個人賞  
最優秀選手賞 戸澤誠一(四年)  
優秀選手賞 大野善久(四年)  
佐瀬 滋(三年)  
高田雄弘(三年)  
上田芳久(三年)

### 羽根球部

一九九七年北海道学生  
バドミントン新人戦大会  
平成九年十一月二日  
十二月七日(深川市)

●成績  
団体 一部リーグ 優勝  
(創部以来初優勝！)  
全道優勝！

### 卓球部

平成十年五月十四日  
五月十七日(宮城県)

●成績  
団体 一部リーグ 三位  
個人 中泉 仁(二年) 三位

### 硬式庭球部

全日本学生テニス選手権大会  
北海道本選  
平成十年五月九日  
五月十四日(札幌市)

●成績  
個人 S 尾村 哲(四年) ベスト八

### ボウリング部

第二十九回東北学生ボウリング大会  
新人選手権大会  
平成九年十一月五日  
十一月六日(山形市)

●成績(個人)  
小橋 宏(二年) 一位  
平田和宏(二年) 四位  
文部大臣杯争奪第三五回全日本  
ボウリング選手権大会  
平成九年十一月三十日  
十二月三日(京都市)

●成績(団体) 決勝九位

### 軟式庭球部

全道学生ソフトテニス選手権大会  
平成九年十一月十二日  
十一月十五日(江別市)

●成績  
個人 D 吉澤和彦(二年)  
久根木誠(二年) ベスト四

●成績  
個人 D 吉澤和彦(二年)  
久根木誠(二年) ベスト四



ローターアクトクラブ

ボランティアは自分自身の勉強

ローターアクトクラブとは、分  
かりやすく言えばボランティアの  
国際組織であるロータリークラ  
ブの学生組織。道内では函大を  
含めた四校しかありません。  
函大ローターアクトクラブは、  
昭和四十六年創部とその活動は  
四半世紀を超えました。月に一  
度のペースで函館市内・近郊の  
老人ホームや福祉施設などを感  
問し、ボランティア活動を行っ  
ています。

現在、部員は十八名、内七名  
が女性。「将来は児童福祉に関  
わる仕事をしたい」という菅大蔵  
君（二年）は、「ボランティアは、  
人のためではなく自分の勉強で  
す」。女性部員の  
五十嵐千晶さん  
（三年）は、「この  
クラブに入ってから、誰に対しても  
平等に接しられる  
ようになりまし  
た」。純粋な気持  
ちで、社会に役立



少林寺拳法部

ちたいと行動する函大ローター  
アクトクラブ。「これからの入  
生の入部を待っています」と、口  
を揃えて言う二人でした。



左端 今井顧問

少林寺拳法は、自他共榮の理  
想郷建設をめざすための手段で  
あり、その心のよりどころを釈  
尊の教え、仏教に求めるのだぞ  
うです。  
八名の部員はすべて男子。入  
学して初めて少林寺拳法をやっ  
た人が多く、小学生からやって  
いた人もくわしくいます。練  
習は学内の武道館で週二日、そ

PBM研究会

パソコンで遊ぶ知的ゲーム

のほか監督をお願いしている市  
内の道場にも通っているそう  
す（現在はあまり行っていない  
そうです）が……。  
「少林寺拳法は他の武道と違  
い、宗門の行。勝ち負けではな  
く、自己確立・自己鍛錬の世界。  
身体と一緒に、精神面も鍛えて  
ほしいですね。女性には護身術  
としてもいいんですよ」と顧問  
の今井助教。部員も全員、  
「女子部員もほしいよ。女子部  
員が入ることで、練習に熱が入  
るらしいのですが」。

昨年（九七年）五月に誕生した、  
新しいクラブ。荒井健次君（四  
年）を中心に、男子学生七名で  
スタートしました。PBMとは  
「プレイ・バイ・メール」の略で、  
パソコンのEメールや郵便など  
を使った遊びの一種。遊びと言  
ってもなかなか知的な遊びで、  
簡単に言えば小説の舞台を設定  
し、そこにEメールや郵便など  
で参加して登場人物やストーリー

バスケット

春季全道ベスト8



三年生を主体に十七名。楽し  
く強くなるうーをキーワードに、  
戦術からトレーニングの計画ま



で、部員たちの自主的な運営を  
モットーにしています。練習は  
週に四日程度ですが、創意と工  
夫で作り上げたひと味があつた  
チーム力が自慢。「ディフェンスを  
がんばって、チャンスをつかんだら  
とにかく走る。走って走って  
かきまわす。それがうちの持ち味  
です」と大沢キャプテン。昨年は  
春季トーナメントで全道ベスト  
8。現在は二部リーグ。上位の  
壁は厚いですが、なんといいつ  
ても一部リーグ入りが悲願です。  
「バスケットのおもしろさは、や  
はりチーム一丸となること。ひ  
とりのエースよりも、全員のチー  
ムワークが大切です。自分たち  
のカラーがうまく出せて快勝し  
たときは、最高ですね。」大会前  
には先輩もコーチに駆けつけ、部  
員同士だけでなくOBたちとも  
息のあったところを見せていま

教養講座・健康講座

当学で「損害保険論」の講師としてお招きしている村上氏からは、七月から  
自由化になった自動車保険について、函館医師会会長である後藤先生からは、  
若いうちの成人病予防について、お話しいただきました。

教養講座

七月から自動車保険が自由化に  
信頼できる代理店選びのポイント



東京海上火災保険(株) 函館駅前支社支社長 非常勤講師 村上 昌弘

二〇〇一年のビックバンに向  
け、金融業界では様々な動きが出  
ていますが、保険業界においても  
自由化の流れが急速に進んでいま  
す。

自動車保険について言えば、こ  
れまでは自動車保険料率算定会と  
言つた三者機関が保険料率を算出  
し、各保険会社はこの料率を遵守  
する義務があったのですが、この  
七月からは遵守義務がなくなりま

健康講座

成人病の予防は  
若いうちからの規則正しい生活



ことう内科胃腸科医院院長 函館医師会会長 後藤 暉

失を最小限に食い止めるための有  
効手段として先人が生み出した貴  
重なシステムです。しかしながら、

成人病……加齢とともに多発  
する、特に四十代から多くなる  
病気の総称で、皆さんも良く耳  
にする言葉です。現在日本人の  
死亡原因の一位、二位にあるガ  
ン、心臓病、脳卒中に加え、肝  
炎や糖尿病などが代表的な病気  
です。この「成人病」が、最近で

日本はGDP（国内総生産）に占  
める保険料の割合が二・五％とア  
メリカの半分しかなく、保険の利  
用度はまだまだ低いものと言わざ  
るを得ません。  
ますます複雑化、多様化する現  
代社会の中で私達はリスクと隣り  
合わせの生活を強いられています。  
自由化を迎え、保険も今まで以上  
に身近なものになります。ぜひ信  
頼できるアドバイザーを持ち、保  
険をうまく利用して欲しいと思ひ  
ます。

「生活習慣病」という呼び方に  
変わってきています。つまり成人  
病の多くが、日頃からの生活習  
慣に起因しているというわけ  
です。  
「生活習慣病と呼ばれるくら  
いですから、その予防は生活習  
慣にあります。でも三十代、四  
十代になってからはなく、長  
年の生活習慣のツケがたまつて  
行くわけですから、若いうちか  
ら規則正しい生活を習慣づけ  
ることが大切です。  
ここに「成人病予防の八カ条」

- 一、食べ過ぎに注意。
- 二、動物性脂肪は控えめに。
- 三、塩分は一日10g以下に。
- 四、週二日は休肝日を。
- 五、なるべく禁煙。
- 六、毎日適度な運動を。
- 七、ストレスと上手につき合う。
- 八、規則正しい生活を心がける。

これを若い人たちに当てはめ  
ると、まず暴飲暴食はしない。  
肉中心の食事を改める。グルメ  
などと称して食べ過ぎていると、  
糖尿病や肥満の原因に。塩分は、  
いまと摂っている半分くらいが  
目安。煙草は控える。一日に吸  
う本数×年数が四〇〇以上にな  
ると、肺がん発生率は倍になる  
といわれています。クルマはあ  
まり乗らずできるだけ歩く。一  
日七千歩を目標に。あまり夜更  
かしせずに、早寝早起きの習慣  
を。夜十時を過ぎると免疫力が  
急激に低下すると言われ、風邪  
などをひきやすくなります。  
もう一度繰り返しますが、若  
い頃の不摂生が歳とともにたま  
り、成人病の原因になります。  
今から健康的な生活習慣を心が  
けましょう。



## 二十一世紀の大学づくりへ 積極的な理解と協力を

函館大学協学会会長 函館三葉亭自動車販売株式会社

取締役社長 山村 幸生



全国各地から迎えた新入学生たちも大学に慣れ、函館大学の伸び伸びとした自由な学風の中で学生生活を謳歌していると思います。函館大学は河村学長はじめたいへん先進的な考

### 交通安全講習会

交通安全の決意あらたに！



本学では毎年、入学と進級を迎える春に、全学を対象にした交通安全教室を開き、交通事故とは無縁の大学生活をおくるための啓蒙と意識づけを図っています。今春は四月十五日、二六二教室において、函館中央警察署の幹部を招いて行われました。当日はビデオ映像なども交えながら、事故を回避する知識や技術、交通マナーの大切さ、事故の悲惨さなどが語られ、参加者はそれぞれに、安全運転の重要性を強く再認識しました。

### 教職員異動 (平成十年四月一日)

校内異動

昇任

教授 (↑助教) 赤松 潤  
教授 (↑助教) 大江田 清志  
教授 (↑助教) 片山 郁夫  
助教授 (↑専任講師) 坂野 学

専任

専任講師 佐藤義博 (哲学等)  
専任講師 日野隆生 (商学総論等)  
専任講師 田中浩司 (日本経済史等)  
専任講師 会沢信彦 (心理学等)

退任

教授 大坂昭雄 (平成二年四月～平成十年三月)  
教授 大嶋 隆 (平成三年九月～平成十年三月)  
教授 山崎義彦 (平成三年九月～平成十年三月)  
教授 中川 正 (平成三年九月～平成十年三月)

転出

助教授 坂田 聡 (平成三年四月～平成十年三月)  
中央大学へ

### 施設紹介

## トレーニングルーム



体育館の二階に、各種筋力トレーニング機器が並んだトレーニングルームがあります。協学会の予算で年々徐々にマシンが増え、現在は十台のマシンが揃っています。

各運動部が日頃のウエイトトレーニングや、オフシーズンの筋力トレーニングなどに、自主的に利用しています。年一回はスポーツトレーナーを呼んで、部位別の効果的な筋力トレーニング法の指導を行っていますが、理想的には日頃から正しいトレーニング法を指導してくれるスタッフがほしいところです。

協学会のご協力で、マシンはかなり充実していますが、より計画的・効果的なトレーニング法の学習も必要かもしれません。今年もたくさんの好成績をあげた各運動部には、これからの活躍のためにも、大いに活用してほしい施設です。



### 同窓生を訪ねて

## 函館国際ホテル

レストラン支配人 沼田 良三 (三期生・昭和四十六年卒)  
経理総務部総務課長 和泉 俊則 (四期生・昭和四十七年卒)  
企画開発部企画課長 沖田 充 (四期生・昭和四十七年卒)  
レストラン部門支配人 新保 勇一 (四期生・昭和四十七年卒)

北海道一の観光都市と言ってもいい函館。その函館でも、格式高いホテルの一つである函館国際ホテルで、その開業とともに



に勤めてきたのが今回の四名の方です。四人の中では、沼田さんが一年先輩で、他の三人は同期生。函大時代の最も心に残る思い出を訪ねると、四人とも「昭和四十三年の十勝沖地震」と口を揃えます。

この地震によって、函大校舎の一階部分が崩れ、四階建て校舎が一瞬にして三階建てになったとか。「ちょうど三講時目で午前十一時頃でしたか。いきなりすごい揺れを感じて、みんな慌てて逃げました。今思えば、一人の犠牲者も出なかったのが不思議です」と新保さん。「校舎の復旧工事は、当時あった寮を教室代わりにしたりしたんですよ」と沼田さん。昭和四十三年

## 函大OBは当ホテルのすべての部署で活躍しています。



取締役社長 菊地 正治

堅、そして部下を束ねるベテランまで、年齢的にもバランス良くいます。特に沼田、和泉、沖田、新保の四名は創業以来の社員として、私にとっても心強い存在です。ここ数年は函館大学からの採用はありませんが、地元企業としても地元大学からの採用は希望するところです。ぜひ先輩たちに続く、優秀な人材を期待しています。

ライダル・宴会部門を担当してきました。「どんな仕事も、大事なのはまず好きになること。そして自分なりの喜びを見つけることです。まず自分がやりたいことを見つけて、その道に進めるよう一生懸命努力してください。」

総務課長で人事も担当している和泉さんは、「当ホテルには函大OBが合計十人います。私が現在の担当になって三年目ですが、直接函大の学生を採用する機会が残念ながらまだありません。これからの函大生が、当ホテルへ入社し活躍してくれるのを期待しています。」

企画課長として、ホテルのイベント、レストランフェアなどの企画を行っている沖田さんは、

「自分の発想が生かせる職場であるだけに、やりがいと面白さを感じます。学生の方たちは、柔軟な発想ができるよう幅広い知識や経験を、学生時代に身につけてください。」

レストラン部門支配人として、若手社員の教育に当たる新保さんは、「接客の基本は、つねに相手の立場を思い誠意を尽くすことです。これは、学園訓である『報恩感謝、実践躬行』に通じます。学生の皆さんは、この学園訓を胸に学んだことを社会で実践してほしいと思います。」



# 函館医療保育専門学校

保育科(男女・2年)・歯科衛生士科(女子・2年)・看護婦(士)科(男女・3年)  
函館市柏木町1-60 ☎0138-53-5876

伝統となっている  
保育課の人形劇



## 全道でときがけとなった保育科

一九五五年に創立された保育科が函館医療保育専門学校の始まりでした。『保母養成の専門学校』として道内でも有数の歴史を持ち、四十

余年にわたって、専門の知識や技術によって地域に貢献できる人材を育んできましたと井内隆夫校長。現在の保育科は道南を代表する保育士と幼稚園教諭の養成校として、保育園での保育実習・幼稚園での教育実習・福祉施設の実習を数多く取り入れた、独自の人間教育を実践しています。卒業と同時に保育士資格と幼稚園教諭二種免許のふたつが同時に取得できるのも特徴と語るでしょう。

長い歴史と実績によって、保育所や幼稚園を自ら設立したり、園長や主任として活躍する卒業生も少なからずいて、その存在が後につづく後輩たちの目標や後見となっています。

一九八〇年には**歯科衛生士科**、**八九年には看護婦(士)科**を新設

函館歯科医師会などからの要



道南を代表する保育士と幼稚園教諭の養成校として、保育園での保育実習・幼稚園での教育実習・福祉施設の実習を数多く取り入れた、独自の人間教育を実践しています。卒業と同時に保育士資格と幼稚園教諭二種免許のふたつが同時に取得できるのも特徴と語るでしょう。



専門学校としては全国でも数少ない看護婦(士)科



看護スタッフが担う使命には、たいへん大きな責任が伴います。そのために、私たちは、専門的な能力が活きてくるのです。」

校長は語ります。「私たちの考えるスペシャリストとは、単に知識や技術にすぐれた人間のことではありません。その上に、人間としての豊かな思いやりや優しさがなければなりません。そういう資質を掘り起こしてはじめて、その人間の専門的な能力が活きてくるのです。」



「当校は地域と密着した様々な活動を通し、社会性、人間性を養っています」と語る井内校長。

また平成元年には三年制の看護婦(士)科が誕生。「高齢化社会」の今日、生命の質は、医療や福祉のレベルが左右するといっても過言ではないでしょう。そして医療が高度に専門化していくほど、看護の重要性が増してきます。すぐれた知識や技術を持ち、人間的なやさしさや魅力にあふれた

また平成元年には三年制の看護婦(士)科が誕生。「高齢化社会」の今日、生命の質は、医療や福祉のレベルが左右するといっても過言ではないでしょう。そして医療が高度に専門化していくほど、看護の重要性が増してきます。すぐれた知識や技術を持ち、人間的なやさしさや魅力にあふれた



道南では唯一の歯科衛生士科

「プロとしての意識を育むのは、試験のための勉強からだけではなく、他人や地域とさまざまな関わりを通じていく経験からです。人のために何ができるか。つねにそういう発想から行動していけるような人間に育ってほしいですね。」

「プロとしての意識を育むのは、試験のための勉強からだけではなく、他人や地域とさまざまな関わりを通じていく経験からです。人のために何ができるか。つねにそういう発想から行動していけるような人間に育ってほしいですね。」

# 旬と絆



前協学会会長  
川越耕吉

入学式朝の思い出。  
天も地も日本晴れ、春ほど心弾むときはない。龍が飛び鳳が舞う。の如く、厳寒の北国では一層感受豊かである。  
春風快く、我が家から一・六キロ駅まで歩きタクシーを拾う。「函館大学まで」と行き先を告げると「今、東京のお客さんに乗せて大学から帰ったばかり」と、なかなか話好きそうな運転手さん。頭は白く一目で年輩者と判る。「運転手さんはベテランですね」

てしまふ。かつて旬の味わいを喜んだ「ときめき」が消え失せてしまった。今の日本の飛躍は科学や技術の進歩によるところが大きい、それにより旬の季節感を失ってしまったのも事実である。そして大学に上がることも当たり前のように罷り通り、時にまさかという事件や事故が発生して、国や社会が悪い、学校が家庭が親が、と不満が張りつめ、旬の味わいも心のゆとりもない。私もその一人であるかもしれないのだが。

ハンドルを手に三十余年。我が子にける親の情熱、そして月給袋を神棚に拝む親子の絆が私の心をゆさぶった。運転手さん親子にどうか幸あれと安全運転を祈り、大学にて下車した。

「若人よ来たれ函館大学へ  
夢も希望も無限大である。」

## いっしょに私から函館大学をよむ

函館の夜景は香港、ナポリと共に世界三大夜景のひとつである。天然の良港、太平洋と日本海を結ぶ津軽海峡、国際海峡とも称しているこの自然環境の丘に建立する函館大学は、実に美しく素晴らしい。野又学園の最高峰として、河村学長を中心とする優秀な教授陣、新たな展開と充実は大河の如く、志願者も全道から全国、そして世界に拡大している。学生諸君に対する実社会、大企業の評価も極めて高い。

- 玉稿をお寄せいただき、まことにありがとうございました。紙面の制約上、全てに掲載できないことをご了承ください。
- 第八号へも、ふるってご投稿ください。
- 尚、掲載作品については、薄謝を進呈させていただきます。
- この広報誌にたいしてのご意見・ご感想等ございましたら、編集事務局までお寄せください。